

関節リウマチと歯周病

関節リウマチは、遺伝的要因(発症しやすさ)に環境要因(きっかけ)が加わることで発症すると考えられています。

歯周病は環境要因の1つであると考えられています。



歯周病の原因となる微生物は様々ですが、その中でも特に
ポルフィロモナス・ジンジバリス
Porphyromonas gingivalis (P. gingivalis) という菌が関節リウマチとの関連において重要とされています。

この*P. gingivalis*は、蛋白質のアルギニンというアミノ酸をシトルリンというアミノ酸に変える(シトルリン化)能力があります。このシトルリン化された体内の蛋白質に対して免疫が働き、関節の炎症がもたらされる可能性が考えられています。

抗CCP(環状シトルリン化ペプチド)抗体は関節リウマチの診断に有用*ですが、これは上記のようにシトルリン化された蛋白質に対する自己抗体です。

(*ワンポイントアドバイス10.「関節リウマチと抗CCP抗体」も参考にしてください)

抗CCP抗体が陽性だと将来関節リウマチを発症する可能性がより高くなると考えられますし、関節リウマチの患者さんで抗CCP抗体が陽性だと関節破壊の進行リスクが高くなります。では歯周病をしっかりと治療することで、関節リウマチが改善したり、その発症を予防できるのでしょうか。確かに歯周病を治療することで関節リウマチが良くなったとする報告もありますが、まだはっきりとした結論は出ていません。

ただ関節リウマチの有無に関わらず、口腔内を清潔に保つことはとても大切なことですので、**定期的な歯科受診をお勧め**します。